平成 28 年度薬局実務実習打ち合わせ：議事録

時　：12 月１日（火）　１９：３０－２１：３０
場所：ココス石下店
参加者（敬称略・順不同）：尾形・堤・為我井・清水・石塚・木名瀬・齋藤（たけの薬局）・竹野・野尻・後藤・鈴木・増田・松田・斎藤（つむぎ薬局）計 14 名

議題１　新規受け入れ薬局について
・平成 28 年度から新規受け入れ薬局：薬樹薬局水海道・ひかり薬局篠山店

議題２　実施困難そうな項目に対しての対応
①　薬局製剤
以来可能な薬局
実習受け入れ薬局→あけぼの薬局千代川店、同水海道店、ひかり薬局守谷ゆりがおか店
受け入れ薬局以外→もとはし薬局、スガヌマ薬局、黒鳥薬局
＊28 年度受け入れ薬局の中で薬局製剤の実習先が決定していないのは薬樹薬局のみ、社内での対応も考えられるが、上記薬局と相談も可能

②　漢方
薬局製剤と別項目として考えると。
ツムラ工場見学→学生からは行ってみたいという希望はあるとのこと。
交流も兼ねてある程度の人数でやれると良い。実習が始まってから学生の希望を取り日程調整
薬局製剤で漢方を行っている薬局にての実習も視野に→ひかり薬局守谷ゆりがおか店、倉持世界堂

③　薬局カウンター
・ドラックストアでの実習は、1 日では相談業務のチャンスが限られるが、新聞広告が入る日などに実習すると可能性が広がる。また、今まで実績のあるストアでは、農薬の取り扱いを見ることができた。
＊ドラッククラモチやカワチ薬品で実習する場合、契約が必要
担当者に連絡し、必要書類を本社に送ってもらい、契約書を交わす。
日程は担当者と相談。
・OTC 相談業務としては、昔から地元で開業している薬局にお願いする方法も有
＊黒鳥薬局、つかだ薬局、スガヌマ薬局など

④　在宅
今回は自薬局で対応可能なため問題なし

⑤　学校薬剤師
学校薬剤師をしている先生方は多数いるので、希望があればサイボウズなどを使用し依頼する。
木名瀬先生転勤のため、常総班では学校薬剤師に空きが出るため、松田先生が立候補するという方

法も有

⑥ 薬物乱用防止

ライオンズでやっているイベントに参加してみる。

学校でのイベント情報を保健所や菅沼会長にもらい、タイミングが合えば参加する←増田先生が確認してくれる。

⑦ 医薬品適正使用

ベストライフ事業などについて菅沼会長に確認する。

また、県薬　袴田さんにイベント情報聞く←竹野先生が確認してくれる

⑧ 休日夜間

一番は、筑西休日夜間診療所で実習するのが理想。土浦の休日夜間に参加する方法もあるが、距離に問題あり。

その他、日曜日や休日に対応している薬局もあるので、必要ならば依頼する

⑨ 緊急災害時

・27 年度は、増田先生を中心に 1 期、2 期ともに県内の実習先に声をかけ、講義とグループワークを行った。3 期についても行う予定。
・2 期より 1 人 1000 円を頂いているが、実習費は半日 2500 円であることも考慮し、今後の運営が円滑になるように設定してゆく。
・昼前から行うことも視野に入れる。

議題３　実習費の確認

自薬局以外に実習をお願いする場合は、半日 2500 円、1 日 5000 円が通常。

議題４　歓迎会

ゲームを取り入れるなどの意見が以前あったが、今のところない状態でもコミュニケーションはとれている模様。

プロフィールのプレゼンを 5 分ぐらいで、できると良い

歓迎会開催日より前に学生にアンケートを取り、発表。

議題５　成果報告会

・協力していただいた薬剤師以外にも参加していただき、地域連携につなげる。
・大学担当者に声をかけて連絡し、参加していただく。（訪問日を成果発表の日に当ててもらう）
・今後の展開として、学術大会のように点数つけをして優秀賞を決める
・今後、常総薬剤師会として予算付を考えてもらう。または、災害実習の時に支払われた金額で賄う。
・発表内容には引き続き、「印象に残った患者さん」について 1 例入れる